

## 5/9(金)寺澤先生「救急医療のパールズ」講演会



講演会前の救急指導

寺澤先生の SKYMET 主催講演会は 3 回目。毎回たくさんの職員をひきつけるものは何だろう・・・今回のテーマは『救急医療のパールズ』。

クリニカルパールとは、臨床医の知識と経験に裏打ちされた、現場での診療・治療に役立つ「格言」のようなもので時代を超えて受け継がれる。EBM（根拠に基づく医療）は時代とともに変化していくが、クリニカルパールは一生の財産であり、まさに今回は寺澤先生のパールズを浴びる好機となりました。

レクチャーの中で先生は、日本の ER についてこうおっしゃっていました。

**日本の ER は高齢者が主役、主役には敬意を払うべし**

**1. 良好な人間関係    2. 常に家族も同席    3. 検査はオーバー気味に指示**

ひじょうに納得できる内容です。しかし、寺澤先生の偉大さはここからです。講演の前に当院の ER に入っていた際、まさに有言実行、当たり前のように ER での診療の中でそれを展開していたことです。そして、その後のカンファレンスを寺澤先生は「これが私の最も好きな時間」。救急医がどのように臨床推論し診断に至るかを垣間見ながら、そのプロセスを学ぶ有意義な場でした。

先生の講演から強く感じたことは、「救急医療にはスタンダードがある。まずはそれをとことん学び、極めるべき。それでも負け続けるのならあきらめがつくはずだ」ということです。

そのことを着実に実践しながら、また寺澤先生にお会いできる機会を心待ちにしたいと思います。

報告 SKYMET 看護副部長 ○



外部の方 23 名を含め 103 名が参加。